



9月下旬だというのに暑い日が続いています。暑さを避けながら、水を使って砂遊び、野菜を切ったりすり下ろしたりしてごちそうづくり、虫取り、かけっこ等自分の好きな遊びを見付けて取り組んでいます。友達と誘い合って水を流したり、ひとつのごちそうをつくらして遊びを進めています。

10月5日はアクティブキャンパスの児童と一緒にスポーツDayを行います。この行事を通して子どもたちはどのような経験をして何を感じているのでしょうか。



はな組は「先生、よーいどんしよう」「もう一回しよう」と何度も走っています。教師と一緒に走ること、教師よりも少し速くコーンを回って戻ることが楽しいようです。



ほし組とそら組は3チームに分かれてリレーをします。1回目、バトンを誰に渡すか分からなくなる子ども、バトンをもらったのにじっとしている子どもがいて、リレーになりませんでした…。繰り返す中で、また、2年生に「腕をしっかり振るといいよ」「バトンのもらい方はこう」と実際にして見せて、教えてもらい、転んでも靴が脱げてもまた走る姿も見られるようになりました。チームの友達と応援し合うこと、勝敗を喜んだり悔しがったりする経験をしてほしいと思います。

はな組は、教師の周りで跳んだり跳ねたり笑顔で動いています。踊らなくても同じ場にいることも大切です。見てもらう意識はないようですが、教師や友達と一緒に踊ることを楽しいと感じているので、「楽しいね」「かっこいいね」と認めていきます。



ほし組は、音楽がかかると楽しい気持ちが高まり、少々ふざけながら大きく動いています。楽しい気持ちを認めながらみてもらうことも意識できるようにしていきます。



そら組は、「全然恥ずかしくない」と張り切る子どもと「人に見られると恥ずかしい」と動きが小さくなる子どももいます。『恥ずかしい』という感情は成長の印です。それをどのように自分で消化しながら取り組むかを励ましながら見守ります。

きりとりせん

読まれた感想・ご意見などありましたら教えてください。園長だより6 ( )組 園児名( )